



## こんにちは！田中です

9月の台風15号の強風による倒木や長期停電、10月の台風19号とその後の豪雨災害は、四街道市内にも大きな被害をもたらしました。県内では、まだまだ困難な生活を強いられている方がおられます。被災された皆様に心よりお見舞いを申し上げます。

支えあい通信も第4号を数え、今回は「四街道中学校地区の支えあい会」と「福祉、医療関係機関の地域づくり情報交換会」についてご紹介致します。

皆さんの地域には、支えあいがありますか？歩いて行ける居場所がありますか？困りごとを誰に相談しますか？ちょっとしたことをお願いできる人が近くにありますか？

今後も地域にお邪魔して、支えあいのある関係づくり、地域づくりを皆さんと一緒に考え、進めて行きたいと思っています。

インフルエンザ流行の時期に入りました。皆様、くれぐれも予防に心掛け、令和2年を元気にお迎えください。

発行

〒284-0003

千葉県四街道市鹿渡無番地

総合福祉センター分館

四街道市地域包括支援センター

生活支援コーディネーター

田中 悦子

電話：043-420-6070

FAX：043-424-6707

発行：2019/12月



# よっかいどう 支えあい通信



## 第4号 広がる支えあいの動き

～四街道中学校地区の支えあい会～

あなたの地域に支えあいがありますか？

気軽に声掛け合える地域の関係づくりやあったらうれしい  
 ※支援※や※居場所※などについて、市内の事例を参考に  
 四街道中学校地区に住んでいるみんなで  
 情報共有しませんか？

あなただけ  
 地域全体  
 近所の人たち  
 関係の深い人

**四街道中学校地区支えあい会**

日時：令和元年 11月29日(金)  
 14:00～16:00

会場：わらうへの里 わらうびんくホール

内容：①今なぜ支えあいが必要か？(講話)  
 ②他地域の支えあいの取り組み報告

主催：地域支えあい推進チーム四中  
 問合せ：四街道市生活支援コーディネーター 田中悦子  
 四街道市地域包括支援センター 043-420-6070

11月29日、四街道中学校地区で、初めての全体会「支えあい会」をわらうへの里にて開催しました。地域の方30名がお越しください、生活支援コーディネーターの講話と桜ヶ丘中央区の支えあいを考える発起人の方々から「参加のS」「多世代交流の居場所」の立上げ経過、旭ヶ丘のミニ協議体幹事会の方々から「支援のS」として「ちよこつとサポート」のお話を伺いました。

参加者からは「自治会との関係」「活動資金」についてや、「今後自分たちはどのようなことをすればいいのかわかるのか」等の質問があり、活発な意見交換ができました。今は車や公共の交通機関を利用して、どこでも自分の力で移動できても、歳を重ねると動ける範囲が狭くなります。だからこそ、歩いて行ける範囲の方々、ご近所の方々支えあいの大切さを共有し、考えていく機会が大切だと思います。今後は、自治会・シニア会・地域サークル等で、支えあいについて考え、自分たちができることを行動に移していくことが大事です。支えあいについて考えてみたいと思っている方は、是非ご連絡ください。

## 市内の支えあいのうごき



栗山県営住宅自治会：  
お元気チェックとおしゃべり会



桜ヶ丘中央区：  
第2回多世代交流の話合い



四中地区福祉協力員会議：  
支えあいの講話



西A地区社協：  
福祉講座でカードゲーム



わらびが丘シニア会：  
支えあい講話とカードゲーム



桜ヶ丘シニア会：  
支えあいと笑いヨガとのコラボ



四街道二区シニア会：  
支えあいの講話とカードゲーム



新生クラブ：  
支えあいの講話



緑ヶ丘いきいきクラブ：  
支えあいの講話とカードゲーム

### 3つのS による 地域づくり

#### 参加のS

参加する場所・居場所  
がある地域づくり

#### 支援のS

生活を手伝ってくれる  
支援がある地域づくり

#### 相談のS

相談できる場所が  
ある地域づくり

### 福祉と医療関係機関 の地域づくり情報交換会



11月22日、福祉センターにて、四街道市内の福祉施設関係者と医療関係者による「地域づくり情報交換会」が開催されました。初めての試みでしたが、関係者53名の参加のもと、生活支援コーディネーターの支えあいの講話と現在、地域活動を行っている5事業者より、以下の事例発表が行われました。

- ① デイサービスなごみの家「オレンジカフェの開設」
- ② 栗山中央病院「地域住民への体操指導」
- ③ コープみらいえ「施設開放で居場所提供」
- ④ まごころクリニック「クリニックの地域貢献」
- ⑤ 四季平安の杜「デイサービスで子ども食堂」

福祉施設関係者や医療関係者の方々も、そこに住む住民として「地域づくり」を考えています。今後は、地域の「支えあいの会」に一緒に参加していただく機会も多くなっていくと思っています。